

2022. 9 月

女性チャレンジ応援拠点だより



コラム

「乗り越える方法を考える！」

いよいよ9月、今年も残り4ヶ月です。10月11月をピークに、世の中全体が年末にかけて大疾走する時期です。何かと慌ただしくなりますが、そういう時ほど休息をうまく取り入れて、目の前のことばかりに追われないようにしたいものです。

さて9月の『チャレンジ再発見一思いのほかあなたを拓くアプローチ』は、8月の「話し合い」にかける未来」の続きになります。あなたのチャレンジをライフパートナーに受け入れてもらう、そのためのアプローチ。説得材料も用意できて、都合のよい日時も想定できて、あとは相手に話し合いを申し入れるばかりです。

でも尻込みしてしまうかもしれません。その時のやりとりや後の〈空気〉を想像すると、気持ちが萎える。もしそうなったら、自分に訊いてみましょう。イキイキと生きてこそ自分も良きパートナーでもあり得るはずで、気まずい雰囲気・空気をおそれる必要がどこにある？と。

気を取り直したら、相手に申し入れましょう。何か熱心にやっていることは何となく感じている相手も、渋々でも、あなたの申し入れをちゃんと受け入れるはず。そううまくは行かないと予想できるなら、代替案を用意しておきましょう。

まず日時の候補を複数用意しておく。事前に心情を伝えた方がよいと考えられたなら、「手紙」を書いて用意しておく。「手紙」と合わせて、説得材料の資料コピーを用意しておく。手紙だけ先に渡すか、手紙と資料コピーを渡すか、はたまた別の何かが必要か、考えてみましょう。

その際、8月に紹介した「人を説得する12原則」の10.「(人の)美しい心情に呼びかける」を念頭に置いておきたいものです。近い間柄ほど、感情が複雑にからみあい、意外にむずかしいかもしれませんが、アプローチする側が冷静かつ〈懐の深さ〉を表すことが大切でしょう。

相手のことを考え、準備をかさね、いろいろと用意してきて、それでも、事が前に進まない時は、どうしましょう。共通の誰か親しい人に間に入ってもらうことも考えられますが、逆効果の可能性が高い場合は、いったん間をおく、という判断が妥当かもしれません。

時機をみる、タイミングを計るのです。ひょっとすると、相手やまわりの状況が変わることもあります。実際、自分ではやる気満々なのに、状況がそれを許さず、仕方なしに〈長期戦〉を覚悟したら、「急展開して、開業することに…」と報告をよせてくれた方がいらっしゃいます。

ですから、本当に心の底からやりたいと想っている、願っていることは決して諦めない、断念しないことです。何か新しい試みをしようと思えばハードルは付きものですから、『乗り越える方法を考えなさい』（緒方貞子）。

まずは一人で考え、その考えの精度を上げるために、信頼できる他の意見や考えにふれることが大事です。「女性チャレンジ応援拠点」はその他の一つになるよう、スタッフ一同、情報共有と刷新につとめています。みなさまのご利用をお待ちしております。

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4 階
電話&ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

※ 開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ~ 12:30	18:00 ~ 20:00	13:00 ~ 15:00	10:30 ~ 12:30	13:00 ~ 15:00

※ 開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

